

メディアに登場した LSTR 3Mix-MP 療法の波紋

宅重豊彦 TAKUSHIGE Toyohiko

タクシゲ歯科医院
〒981-8007 宮城県仙台市泉区虹の丘3-11-8

はじめに

LSTR 3Mix-MP 療法（以下、3Mix-MP 法）は、この2年間で一般の人々に広く知られるようになった。それは、①2004年8月以降、数多くのメディアによって3Mix-MP 法が紹介されたこと（表1）、②「3Mix-MP 法オフィシャルサイト」（図1）というホームページを開設したことの両方による、と推測される。その結果、これらの情報に触発された歯科治療で悩める全国の方々から筆者の元へ、Eメールや電話、手紙などが多数寄せられるようになった。3Mix-MP 法は、患者にとって大きな驚きであったようである。その代表的な例を図2に示す。

本稿では、「3Mix-MP 法オフィシャルサイト」の管理者として、こうした患者の声を生で聞ける機会を得たので分析し、彼らが3Mix-MP 法に何を期待しているのか、その期待に応えるためにわれわれは何を心がけ、どのような取り組みをしなければならないか、を考察する。

表1 3Mix-MP 法を取り上げた主なメディア

新聞	産経新聞、読売新聞、共同通信社 等
健康雑誌	日経ヘルス、ゆほびか、わかさ、安心 等
雑誌	日経ビジネス、週刊新潮、週刊文春、女性自身 等
テレビ	TBS、日本放送、読売テレビ、毎日放送、USEN、関西テレビ 等



図1 3Mix-MP 法オフィシャルサイト (www.3mix-mp.com)。

代表的な例

はじめまして。〇〇県〇〇市に住むＹと申します。

突然のメール大変恐縮でございますが、先日、貴殿の記事が新聞に掲載されておりまして、歯医者嫌いな私には大変うれしい記事で絶賛しております。つきましては、標記の件について何点かご質問させていただければ幸いです。

1. 3Mix-MP を実施しているクリニックは〇〇県にございますか。ありましたらご紹介ください。
2. 費用はどれくらいかかりますか。
3. 通院はどれくらい必要ですか。

以上の3点を教えていただけませんかでしょうか。

図2 代表的なEメールの例。

3Mix-MP 法を取り上げたメディア

3Mix-MP 法を初めて取り上げたのは、健康雑誌『日経ヘルス』2004年8月号である。「削らない、痛くない、1回で治る、菌の自然治癒力を生かす新むし歯治療法」という見出しは、患者にとっても、多くの歯科医にとっても、また筆者にとってもある意味衝撃的であった。『日経ヘルス』の記者は、偶然3Mix-MP 法を見つけ、取材時間1時間の予定でアポイントを申し込んできた。約束の時間に訪ねてきた記者は、3Mix-MP 法の予想を超えた大きな内容に興奮し、1時間はおろか取材時間は5時間に及び、前述の記事となった次第である。同記者の記事は『日経ビジネス』にも掲載され、これがメディア各社の目に止まったところから「3Mix-MP 法フィーバー」が始まったのではないか、と思っている。

また、健康雑誌『ゆほびか』の取材は、記者が“自分の娘の歯を治療してほしい”というシチュエーションで行われ、筆者も「百聞は一見にしかず」、実例で知ってもらうよいチャンスと喜んだものの、乳歯の歯髄が半死半生の難症例で戸惑った。幸い、治療は成功し、3Mix-MP 法の面目躍如といったところだった。

新聞では、『産経新聞』や『読売新聞』に掲載されたほか、全国の地方紙に記事を配信している共同通信社の取材を受けた（これにより、地方紙に配信

される結果となった）。特に医療情報の提供に実績のある『読売新聞』は、特集を含め三度も取り上げている。記者自らが体験治療を受けるほどの熱意で、紙面一面をとって掲載された。

テレビ報道としては、日本放送や読売テレビ、TBS、大阪毎日放送、関西テレビ等で「特集」という形で放送された。2005年2月17日、夕方6時のTBS系「ニュースの森」で放送された時は、一種のパニックに陥った。放送が終わるやいなや、当院の2台の電話は鳴りっぱなしで、夜半まで鳴りやまなかった。あらためてテレビメディアの影響力の大きさをひしひしと感じた次第である。特に、大阪毎日放送で紹介された時の影響はすさまじく、半年が過ぎた現在でも「ちちんぷいぷいを見た」と電話がかかってくる。関西はお笑いの土地だけに、やはり面白い人が多いようだ。

週刊誌では、『週刊新潮』や『週刊文春』、『女性自身』等に掲載されたが、実際に訪問取材を受けたのは『週刊文春』からだけで、他誌は電話取材であった。その取材の際、『週刊文春』の記者から、全国の名医や埋もれている妙療法の話聞かせてもらい、厚生労働省の認可を得ていない3Mix-MP 法の行く末を考える上で有意義な情報を得ることができたのは、思いがけない収穫であった。

以上のメディアから情報を得た一般の方々は、「3Mix-MP 法オフィシャルサイト」にアクセスし、筆者のEメールアドレスを知ることとなった。この

不可能を要求してくる例

この方法は、一度治療して銀歯になっているところを再び石灰化して元の歯にできますか？

- ・インターネットで調べていたら、若い人（6歳以下ぐらい）には有効だけれども、そうでない人にはあまり有効でないという意見もあったのですが、実際のところどうなのですか？
- ・この方法が有効でない虫歯の状態もあるのでしょうか？
- ・歯科医によって技術に差があれば、治療効果も異なるのでしょうか？
- ・治療費は保険適応外ということですが、大体の費用はいくらぐらいなのでしょう？

図3 過大な患者の期待の例。不可能を要求してくる患者が多い。

客寄せパンダとなった例

先日、地元の歯科医院にて3Mix-MP法による歯の治療をしてもらったのですが、施術後1週間～10日経過した時点で3Mixを取り除いてから詰め物をします、とその歯科医に説明されました。

ところが、3Mix-MP法のオフィシャルサイトを拝見したところ、3Mixはそのまま残して、その上からセメントなどの詰め物をしている図が載っています。

地元歯科医の説明のように症状によっては、3Mixを取り除いた上で詰め物をするという方法も考えられますでしょうか。また、現在も施術前同様、冷たいものがしみるのですが、3Mixにより病巣が無菌化されればこの症状も治まってくるのでしょうか。

私が地元の歯科医で受けた歯科治療が「3Mix-MP法」ではなかったとは、非常にショックを受けています……。 「3Mix-MP法です」と言われて施術してもらっていましたので。

図4 3Mix-MP法が「客寄せパンダ」として扱われた例。

ようにして、筆者のメールボックスは問い合わせのEメールで満杯となり、一時Eメールの受信ができなくなったほどである。

3Mix-MP法でない3Mix-MP治療

新聞やテレビ、雑誌等の報道には2つの不具合があった。1つは、限られた誌面での報道であるがゆえに、3Mix-MP法を「即席のむし歯治療法」として報道したメディアがあったこと。もう1つは、受け手側が情報を正確に把握せずに、さらに都合のよい想像までも交えて、3Mix-MP法に過大な期待を寄せる結果となったことである。その例としては、「全く削らず、すでに削られた歯質も再生する」(図

3) や「死んだ歯髄を生き返らせる」などである。

多くの患者は、「削られたくない」「歯髄を取りたくない」と願って3Mix-MP法を実施している歯科医院を探す。3Mix-MP法には集患能力があるということで、いろいろな歯科医院が自院のホームページに「3Mix-MP法をやっています」と宣伝文を掲示するようになった。なかには歯科医師としての良識を疑うような医院もあり、被害者が出るようになったので(図4)、「3Mix-MP法オフィシャルサイト」に「3Mix-MP法と異なる治療なのに3Mix-MP法と名乗っている歯科医院があるので注意してください」と書かなくてはならない事態となった。これにより患者たちは疑心暗鬼となり、筆者の元には「この歯科医院は本物の3Mix-MP法ですか？」という

表2 Eメール (3,479通) の内容

内 容	件数	%
医院照会	2,319	67
3Mix-MP 法とはどのような治療か?	110	3
全身疾患との関連	135	4
口腔内疾患	329	9
問い合わせ	187	5
ニセ 3Mix-MP 法	34	1
認定医の照会	45	1
3Mix-MP 法へのこだわり	80	2
その他	240	7

Total:3,479

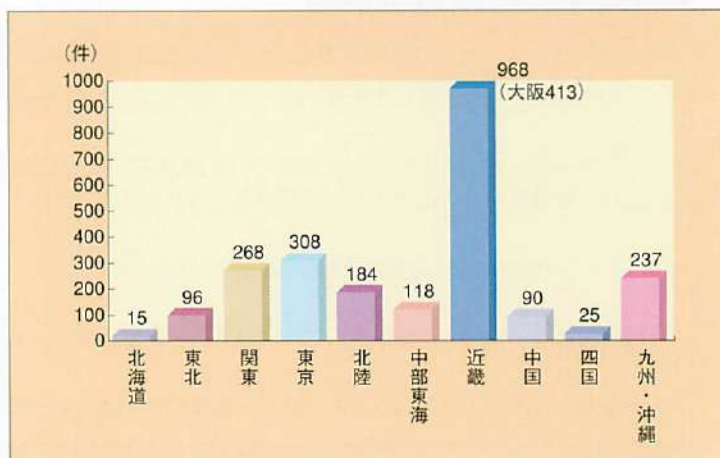


図5 医院照会に関するEメール (2,319通) の地域性 (地方別).

表3 医院照会に関するEメール (2,319通) の地域性 (都道府県別)

順位	都道府県名	件数	順位	都道府県名	件数	順位	都道府県名	件数
1	大阪	413	11	千葉	60	21	熊本	24
2	東京	308	12	沖縄	52	22	宮崎	23
3	兵庫	203	13	石川	51	23	岐阜	23
4	京都	185	14	岡山	48	24	青森	22
5	福岡	118	15	和歌山	40	25	三重	21
6	新潟	99	16	山梨	39	26	宮城	21
7	神奈川	92	17	福島	32	27	静岡	17
8	埼玉	86	18	愛知	30	28	島根	16
9	奈良	65	19	福井	29	29	香川	13
10	滋賀	62	20	長野	28	30	広島	12

米国：5，ブラジル：1，中国：1，英国：2，仏国：1

Eメールが届くようになった。

Eメールの分析とその結果

患者からのEメールは、1年間で3,479通(表2)にのぼった。その内容は、「3Mix-MP法に関する質問」と「歯科何でも相談」(表2の「その他240件」)に大別される。

「(患者の)通院圏内にある歯科医院で3Mix-MP法をやっている所を教えてください」という医院照会のEメールが全体の67%(2,319通)と圧倒的に多かった。この「通院圏内」には想像以上に個人差が

あり、神戸に住んでいる人が「関西圏で……」と言う一方、新潟の人が「長岡市で……」と言う。前文には必ず「本当は先生の治療を受けたいのですが、仙台は遠くて行けません」とある。これまで最も遠い所から通院してきた人はロンドンとパリからで、逆に最も近いのに「遠くて通院が難しい」と言ってきた人は、仙台市内(当院から車で15分くらいの所)に住んでいた。なお、ロンドンやパリから通院した2名は、摂食障害のため治療がエンドレスで、再治療のたびに歯を削られるので、ついには「歯がなくなってしまふ」という危機感を抱き、3Mix-MP法の組織修復に期待して来院されたのであった。

症例Ⅰ：冷水痛なし，歯髄反応あり



図6 症例Ⅰ. 15年前に行った咬合面アマルガム充填の一部脱落. 最寄りの歯科医院を受診したところ, 抜髄の診断.

症例Ⅱ： $\overline{111}$ の冷水痛



図7 症例Ⅱ. かりつけの歯科医院では, サフォライド塗布やレーザー照射を数回行ったものの, 冷水痛は消えていない. 「冷水痛が消えなければ抜髄」と言われたという. う蝕はないし, 歯肉退縮もみられない.

医院照会に関するEメール2,319通を地方別に分類すると図5のようになる. 近畿地方が圧倒的に多く, 都道府県別(表3)でも大阪がトップである. 実際, 電話による問い合わせも大阪が圧倒的に多い. しかも, こちらの話を聞こうとしないで一方的にしゃべりまくる方がいる(私の話を聞くために電話してきたのではないかと思うのだが……). たしかに大阪から仙台までは遠いので, 地元で3Mix-MP法を実施している医院を必死で探す姿勢は理解できる.

次に関東地方が多く, 都道府県別でも東京が第2位であった. 東京-仙台間は新幹線で2時間弱なの

で, 関東の患者は当院を通院距離内と捉えている方が多かった. もちろん, 当院では受け入れられる許容量に限界があるので「抜歯あるいは抜髄の診断を受けた患者さんに限り, お受けします」としている. そのため, 関東から多くの患者が抜歯(実はインプラント)を避けるため, もしくは抜髄を避けるために当院を受診している.

症例Ⅰ(図6)は「即抜髄」と診断され当院を受診することになった患者である. 明らかに削らなくてもよいむし菌を削り, 充填物が脱落したから抜髄するという, 通常では考えられない治療が行われているように思えてしまう. 同様に, 症例Ⅱ(図7)

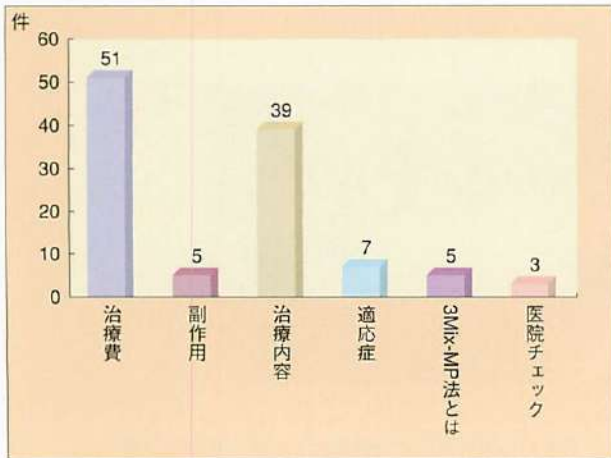


図8 3Mix-MP法とはどのような治療か？（合計110件）

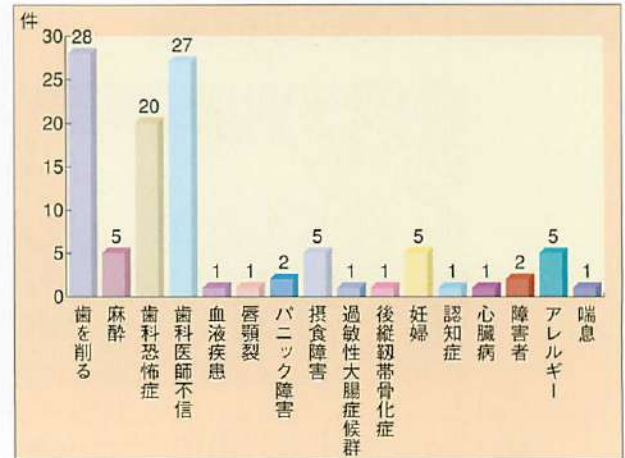


図9 全身疾患との関連（合計135件）

についてもどこにう蝕があるのか、筆者には判別できない。知覚過敏に対する処置を行っても冷水痛が消えないから「抜髄してしまえ」という考えなのであろうか。もし、診断に迷ったり、自分で処置できないのであれば、しかるべき専門医に紹介すべきではないだろうか。それこそが患者の利益を優先することになると思うのだが……。

この2症例とも3Mix-MP法で治療したところ、1回のチェアタイム（それも10分程度）で終了し、冷水痛はその場で消失した。関西では、患者が歯科医院の治療やサービスがリーズナブルか厳しくみているのに対し、関東では歯科医がやりたいこと（治療）を患者に“やさしく”“親切に”押し付けている様子がうかがわれる。もちろん、このようなケースは一部に限られることだと思うが、インプラントをやりたいから、歯内療法をきちんと行えば保存できるのにかげがえのない歯を「抜歯」と診断する等は典型的な例である。

このほか、関西、関東に次いで九州地方（福岡）や新潟からの「医院照会」に関するEメールが多かった。逆に北海道、四国からのEメールは少なかった。患者と歯科医との信頼関係の問題なのか、それとも地域性が存在するのか、詳しい理由はわからない。

「3Mix-MP法とはどのような治療か？」という質問は意外に少なく、3%であった（表2）。これは、

「3Mix-MP法オフィシャルサイト」にかなり学問的（一般の患者にはわかりにくいかもしれないが……）に3Mix-MP法を説明している上、新聞や雑誌の記事である程度の理解が得られているためと思われる。この「3Mix-MP法とはどのような治療か？」という質問（合計110件）のうち約半分（51件）が治療費、約1/3（39件）が治療内容に関するものであった（図8）。

また、「全身疾患との関連」に関する質問（図9）は135件あった。このうちの上位3つは断トツで「歯を削る治療に疑問」「歯科治療恐怖症」「歯科医不信」であった。要は“歯の治療は心身共に大きな負担である”ことを示している。3Mix-MP法の「麻酔をしなくとも痛くない」「少ししか削らない」「抜髄しない」という優しい治療に期待しているのがわかる（図10）。

次に「口腔内疾患」として分類したが、その内容は図11に示すように主訴である。治療を受けても繰り返される再発に嫌気をさしているのが26件/329件で、1割にも満たない。一方で、子供の治療相談に関する内容が断トツである。3Mix-MP法は、乳歯の治療に特に効果があるのは明白だが、子供の治療に対しては「遠くの名医より、近くの慣れ親しんだ歯医者だと思います」と、医院紹介を行わないようにしてきた。

図12は、患者以外からの問い合わせや患者からの

3Mix-MP 法は優しい治療

主人は虫歯がひどく、もろくなっていて、先日2本も根元からぼろっと折れてしまいました。インプラントや義歯は高額ですし、歯科嫌いなのでなかなか歯医者に行ってくれません。そんな主人が先日『日刊ゲンダイ』を読んで3Mix-MP 法を知ったらしく、「これをとりいれている歯科に行く」と申しておりました。そこで3Mix-MP について相談できる歯科を探しておりますが、〇〇県〇〇市近辺もしくは東京都内でありましたら教えていただけませんか。

図10 3Mix-MP 法は優しい治療。

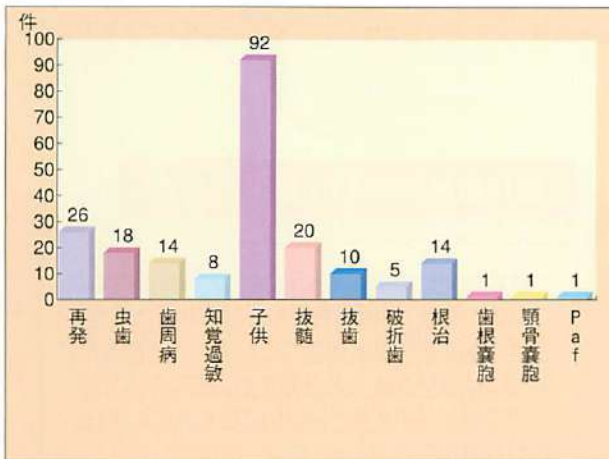


図11 口腔内疾患（主訴、合計329件）。

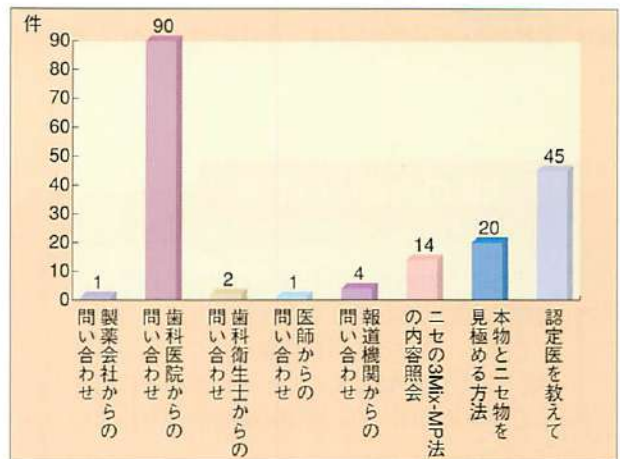


図12 患者以外からの問い合わせや患者からの認定医照会等（合計187件）。

本物の3Mix-MP 法ですか？

3Mix-MP 法は非常に新しい治療のようですが、こちらの認定医で紹介されていない医院は大丈夫なのでしょうか？最近、「3Mix-MP 法」を行っていると言っていて、異なる治療法を行っている歯科医院が見受けられるようになりましたので、ご注意ください、と聞きます。

家の近所に3Mix-MP 法を行っているという歯科医を見つけたのですが、HP で上記のような注意書きを見て心配になりました。何か安心して見極められる方法がありましたら教えてください。

お忙しい中お返事いただきましてありがとうございました。

都内でもこの治療を謳っておられる歯科医の中で比較的信用度の高い先生を見分けるポイントがあれば、（歯医者を選ぶポイントということにもなるのでしょうか）教えていただけますか？

図13 メディアに3Mix-MP 法が登場してから、「本物の3Mix-MP 法ですか？」という質問を受けるようになった。

認定医照会等をまとめたものである。3Mix-MP 法がメディアに登場する前には、3Mix 法という言葉もなく、歯科医院のホームページに見られることも

なかった。しかし、3Mix-MP 法を患者が求めるようになると、自院のホームページに3Mix-MP 法を謳い、集患に努める歯科医が現れ、受診した患者が

最初の頃の返信文（例）

〇〇市には4名の先生がおりますが、その中でもっとも経験のある「□□□歯科」を紹介します。

〇〇市××区1-1-1 電話〇〇-××-△△です。ただし、この先生がどれほど3Mix-MP法を理解しているか、私は知りません。

私の推薦だからといって無防備に信頼するのはやめてください。私の勉強会に入会して〇年経つので、よい治療成績であろうと推測しているにすぎません。電話をして3Mix-MP法を希望している旨を話し、大丈夫と思えば受診する、というようにしてください。ズバリ希望を言って、それを叶えられる確率を聞いたらいいと思います。

図14 最初の頃の医院照会に対する返信文(例)。当時は、患者も喜ぶし、歯科医院側にとっても患者増となり、喜んでもらえると考えていた。

担当医の治療への不満

さっそく自宅近くにも同じ治療法をしている歯科医院で診察を受けて参りました。

ですが、こちらのHPに書かれている、麻酔なしでの治療ではなく、しっかり麻酔を打たれとても奥まで削られ、非常に痛い思いをしました……。

本当の3Mix-MP法でも麻酔を打つことはあるのでしょうか？

図15 受診した患者からの報告例（Ⅰ）。担当医の治療への不満が述べられている。

歯科医師の困惑が見えてくる

診察を受ける前に軽く説明をする歯医者もあつたのですが、「雑誌を見た」と伝えると「やはり雑誌なので誇張表現されているところがあり、実際には麻酔をするときもあり、歯によっては、LSTR3Mix-MP法を行えないこともあります」と言われました。

私の場合は、前歯の隣を治療してもらいたいと伝えたところ、前歯はあまり「LSTR 3Mix-MP法」を行うことはないと言われました。

宅重先生の医院でも歯の状態などによって「LSTR3Mix-MP法」を行う場合と行わない場合があるのでしょうか？

図16 受診した患者からの報告例（Ⅱ）。紹介先の歯科医師の困惑が見えてくる。

ら「本物の3Mix-MP法ですか？」という問い合わせ（図13）まで来るようになったわけである。

Eメールへの対応の変遷

当初は、患者からの要望があれば“医院紹介を行うことは双方にとって有益である”と考えていた（図14）。ところが予想外に、双方から苦情が来たのである（図15・図16）。“喜ばれないことはやるべきで

はない”と考え、返信の文章を変えた（図17）。

すなわち、「自分で探してほしい」というスタンスの対応に変更したのだが、その結果、今度は「3Mix-MP法を行っている歯科医院を見つけられない」という患者の声がEメールに乗ってやってきた。それらのEメールから、3Mix-MP法を知らない歯科医が多くいること（図18～図20）、近隣に3Mix-MP法を行う歯科医院が見つからないことに対して怒りを表す人がいたり（図21）、一方で冷静

返信文の変更 (I)

私のほうから特定の歯科医院を紹介するのは困難です。なぜならば、患者さんが3Mix-MP法に何を期待しているのかわかりませんし、3Mix-MP法を行っているすべての歯科医師が同じ技術力ではありませんので、患者さんの状況、歯科医師の技術力の双方を知らずに、特定の歯科医院を責任を持って紹介するのは困難です。かえって迷惑をかけてしまいますので……。

症状の軽いものでしたら3Mix-MP法の初心者でも対応できますが、難しい症例になると治療できる歯科医師はごく限られてしまいます。3Mix-MP法のことはオフィシャルサイト(www.3mix-mp.com)をご覧ください。それでも3Mix-MP法を是非受けたいというのであれば、近隣の歯科医院に問い合わせて、探してください。

図17 返信文の変更例 (I)。患者や歯科医院側の双方に有益であると考えていたが、双方からの苦情もあり、返信文の内容を変更した。

意外と知られていない3Mix-MP法

先般某有名〇〇大学の医師と話していたところ、3Mix-MPはどここの国でも科学的根拠が証明されていないとのことを伺いました。

おそらくこの治療法を取り入れると医師の職がなくなるから、歯科医師会もいれないのではないかというように勝手に思っていました。3Mix-MPは日本以外でも結構ですので、具体的に効果があるのでしょうか？ またそれはどの国で認められているのでしょうか？ またデメリットは何でしょうか？

個人的には現在の歯科医師が行っている治療法のように、歯をゴリゴリ削っていくのが本当によいとは思いませんが。

図18 意外と知られていない3Mix-MP法 (I)。

意外と知られていない3Mix-MP法

知り合いの歯科医師に3Mix-MP法のことを聞いたら、

- 初期の虫歯には効果があるがかなり進んだ虫歯には適していない
 - 治療費がとても高い
 - 定期的に通う必要があり、1本の虫歯治療が一度で終わることはない
 - 治療費も治療期間もかかるので政令指定都市などお金持ちの多いところでしか行われていない
 - 全部の人に効果的な治療ではない
普通の薬と同じように効く人と効かない人がいる
- など、とても否定的な意見でした。本当ですか？

図19 意外と知られていない3Mix-MP法 (II)。何か別の治療法と混同されているように思える。

に状況を理解している人もいること (図22)を知った。

そこで、返信文の内容について、患者の過大な期待を払拭し、歯科医の重圧を取り除けるような趣旨の文章に変えたのが図23である。それに対する患者の反応としては、やはり否定派 (図24)と慎重派 (図25)がみられた。無防備に新しい治療に飛びつくことは、“たとえ3Mix-MP法の場合でも慎重であるべきだ”と筆者は考えているので、ようやく「良い返

意外と知られていない3Mix-MP法

3Mix-MP法をしておられる医院は大阪にはないのでしょ

うか。
小生は〇〇市在住で、△△市に勤めています。△△市の勤務地近隣の歯科医院に手当たりしだい電話してみましたが、この治療法すら知らない状態がっかりです。もしご存知でしたらお教えてください。

お忙しい中誠に申し訳ございませんが、よろしく願い申し上げます。

図20 意外と知られていない3Mix-MP法 (III)。医院を見つけれない患者の例。

混乱している患者からの返信

歯医者 of 技量もわからない???
患者の病態もわからない状態で医院紹介は、
無責任???
言ってる意味がわかりませんが、その程度の
いいかげんな治療法なんだ、とだけ認識してお
きます。

図21 医院を見つけられない患者の例(Ⅱ)。文面から怒りや焦りが読み取れ、混乱している状況がうかがえる。

理解していただいた返信

お忙しい中、メールのお返事をいただきてあ
りがとうございました。
『患者さんの状況、歯科医師の技術力の双方
を知らずに、特定の歯科医院を責任持って紹介
するのは困難です』という言葉にとても感動し、
先生ご自身のご誠実さを拝見いたしました。

図22 医院を見つけられない患者の例(Ⅲ)。このように理解してくれる人も必ずいる。

返信文の変更(Ⅱ)

3Mix-MP 法は修得が困難な治療法です。しかも、この治療法を教えることができるのは一人しかいません。その人の側で修行をすればマスターするのも早いのですが、開業医ですからそれもできません。従って、3Mix-MP 法をやっているほとんどの歯科医は初心者です。だから、麻酔注射をうつこともありますし、削って痛いこともありますし、治療回数も1回ではすみません。しかし、初心者といえども、従来の歯科治療に比べると、削る量は少ないし、痛みも少ないことは確かです。

3Mix-MP 法の初心者の治療を受けますか？ 受ける意志があるのなら通院可能な地区をお知らせください。私が主宰している3Mix-MP 法の勉強会(CDRG 友の会)の会員を紹介します。

図23 返信文の変更例(Ⅱ)。図17の返信文をさらに変更したもの。

信」ができたと思っている。

おわりに

3Mix-MP 法が数多くのメディアで紹介されたことで、歯科治療に悩む全国の患者の「生の声」を聞くことができるようになった。現在でもEメールは日に数通、電話は10数本かかってくる。そこで聞かれる患者の声は、「信頼できる歯科医を探している」に集約される(図26)。もちろん、従来の歯科治療でも信頼は得られるし、3Mix-MP 法をやれば信頼が得られるとは限らないことは周知のとおりである。3Mix-MP 法は歯を壊さないで、従来法より少しだけ有利であるにすぎない。

ここで、今回取り上げた「患者の声」から簡単にまとめてみると、おおよそ次のようである。

1. LSTR 3Mix-MP 療法(3Mix-MP 法)に、患者は大きな期待をしている。歯牙疾患で歯を失うことがなくなると……。
2. 歯を壊さない治療が患者にとって魅力。患者は「むし菌を削らなくても、むし菌が治る」ことを知ってしまった。
3. 3Mix-MP 法をやっているつもりであっても、結果が悪ければ、患者の信頼は得られない(3Mix-MP 法を自己流にアレンジして応用しても好結果は望めない)。
4. 3Mix-MP 法が有名になったために、“3Mix を使った治療”がにわかに復活したようになり、混乱している(図27)。

3Mix を使用する歯科治療には、何種類かある。「3Mix-MP 法」「自己流にアレンジした3Mix-MP 法」「3Mix を使った従来法」……。少なくとも、これら

怒り派

従来の治療に比べ、歯を削ることなく痛みなど苦痛がほとんど少なく、3種薬の塗布で虫歯を治療するような画期的なイメージを受けてきましたが、「現状ほとんどが初心者で……」とあり患者が受ける苦痛が従来の治療とあまり変わらないということは、初心者ゆえのことでマスターした歯科医であれば、それがなくなると理解すればよいのでしょうか？ 現況では苦痛が現治療と変わらないのであれば少し見合わせたいと思います。

患者にとって3Mix-MP法のメリットはどこにあるのでしょうか？ 痛くない歯科治療法 3Mix-MP法 オフィシャルページ「薬で治す無痛歯科治療 麻酔注射いらずで高齢者や妊婦へも安心の3Mix……」とあるのはどのように解釈すればよいのでしょうか？

図24 図23の文面に対する患者からの返信例（Ⅰ）。具体的に医院紹介をしてもらえないことへの不満がみられる。

慎重派

○受けてみたいと思います。ただ、今は歯の治療中なので、私の場合は次回以降になります。また、年老いた両親にも一番良い治療法と思っていますので、すすめてみたいと思います。

（妻は内容を説明したら実験台でもいい！ と言ってくれる程です。）

○お勉強の方に治療を受けるのは失礼ながら不安があります。現在切羽詰まった状態ではありませんので、今は断念します。将来安心して治療して頂ける日をお待ちしたいと思います。

○お返事ありがとうございました。そうですね、もうすこしこの治療法が普及してから、また考えようとおもいます。

お忙しいところメールを頂いたことすごく嬉しく思っています。

これからもお仕事頑張ってください。

図25 図23の文面に対する患者からの返信例（Ⅱ）。“初心者”という言葉で慎重になっている様子が想像できる。無防備に飛びつくよりは、よほど良い。

患者は信頼できる歯科医を探している

うわさや評判で探してみたのですが、いまだ信頼できるドクターは見つかっていません。歯科医もしょせん商売なので経営のためにはお金になることを優先するように思えてしかたありません。利益のためならクオリティを落とす診察をしている先生が沢山いるということです。

なぜ貴院のことはまだお会いもしていないのに信頼しているかといいますと、歯は削ったほうが絶対お金になるのに、あえて削らない治療法を提唱しているからです。3Mix-MP法のような新しい治療法が確立されれば我々のような虫歯で悩む人々には大変喜ばしいことですが、従来の治療をしている先生達にとってはあまり歓迎しないのではないのでしょうか？

この前まで通院していた歯科医に3Mix-MP法のことを聞いたところ「そんな魔法のような治療法はあるわけがない」と言われました。

私の気持ちとしては「なるべく削らないで、自分の歯で食事をしたい」だけなのです。お金を払うのはぜんぜん気にしないのですが、自分の歯がぼろぼろになるのは悲しくなるのです。

図26 患者からの返信。患者は信頼できる歯科医を探している。

3Mix-MP法とは異なる治療法？

子供の永久歯に、小さな虫歯が見つかり、さっそく3Mixをしてくださる歯科へ行こうとした時、別の歯医者さんから「全く効果がないことがわかり、どの歯医者も手を出さないよ」と言われました。本当ですか？

最近歯医者で3Mix治療を希望したら、薬を使って治った後、そこの歯の部位を削ると言われました。削ってみたいときは麻酔して削ると言われました。

でも、それは、3Mixによって中の再石灰化した余分な歯を削るので、と言われました。

何かおかしくないですか？

図27 “3Mixを使う治療”と「3Mix-MP法」は違う。

わかってくれる方もいる

記事内容を拝見し、ホントに？というのが正直な気持ちです。

この技術は完全に業界の仕組みをひっくり返すある意味革命的な中身だとさえ思えます。

私達患者が間違いなく後押ししていきますので今後とも是非是非、頑張られてください。

図28 患者の中にはわかってくれる方もいる。

3つは“別々の治療法である”という認識を持っていただきたい。実際、3Mix-MP法が従来の歯科治療法と違うことを患者は理解している(図28)。また、術者が自己流にアレンジした3Mix-MP法は、3Mix-MP法より優れた臨床成績なら歓迎すべきものである(すでに3Mix-MP法の臨床成績は発表されている

ので比較できる)が、手技が面倒だからといって簡便性を求めた結果のアレンジは許されない。

*

筆者が尊敬する歯科医の診療室にあった書に「鬼手仏心」とある。勝手ながら私の座右の銘としている。 □